

40 とび Construction Worker (TOBI)



安全に、正確に、迅速に！建築現場で働くキーパーソン

とび職とは、もともと日本の建設工事において、建物の基礎から組立て、解体までの全ての作業を専門に行う職人のこと。建築の現場では、花形職種の一つです。現在の仕事は従来よりもはるかに多様化していて、作業の種類や規模、進め方、使用機材も様々になっています。競技では、単管パイプやクランプなどを使って、高床式の合掌小屋組を組立てて解体するまでを競います。競技の時間は、組立てに3時間、解体に2時間。いかに安全に、正確に、素早く行うかが重視されます。実際の現場ではチームを組んで行う作業が多いため、仲間同士のチームワークも大切です。



安全かつ
迅速な作業が
必要！

柱の位置決めが最初のポイント！ 高所作業は特に慎重に

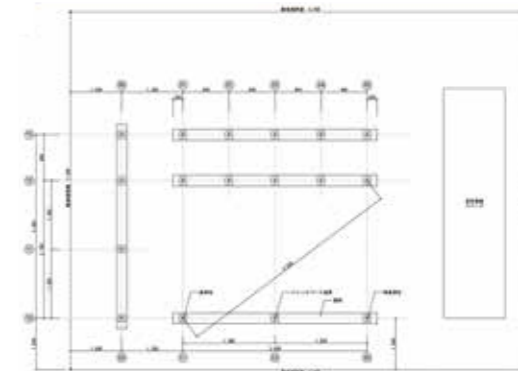
作業において大切なことは、何と言っても「安全に、正確に、迅速に組立てること」に尽きます。そのためには、基準となる柱を割り出して、そのほかの柱の位置をしっかりと決めることが一つのポイント。図面に示された部材を、順序良く、正確に組立てていきます。中でも、法令に基づく高い場所での作業には、特に安全な作業が求められます。あらゆる状況に対応し、責任を持って施工をするとびの仕事は、現場の要として求められ続けることでしょう。



競技について

競技時間 2日/5時間30分

競技課題の内容は、登り桟橋高床式小屋組です。作業順序は、柱の配置を決め、床はり、床けたに足場板を敷き、昇降階段を取り付け、小屋組を組立てること。その後の解体、片付けまでが競技に含まれます。また、材料や工具などの整理・整頓も、作業の安全性に関わる重要な点として課題の評価ポイントになっています。



参考：第58回技能五輪全国大会 敷地配置図・対角図

競技職種と生活との関わり

建設現場での高所作業を専門とする職人で、東京スカイツリー(高さ634m)などの高層建築物に多く携わっています。とび職種の仕事には、足場を組む「足場とび」、クレーンを使いビルの基礎となる鉄骨を組立てる「鉄骨とび」、主に高速道路や橋をかける「橋梁とび」、重量物の搬入や設置を行う「重量とび」など専門分野に分かれています。どの職種よりも先に建設現場に入って足場を組み、その隙間にシートやネットを張り、万が一の落下事故に備えます。

2019年大会の成績

第57回技能五輪全国大会出場時点 / 2019年11月

金	(有)栗栖工業	西村 真人さん(山口県)
銀	向井建設(株)	平野 星斗さん(東京都)
銅	(有)岡田興業	高谷 和希さん(長野県)

金賞
西村 真人さん
(有)栗栖工業

何が何でも
金賞を狙って、
一生懸命に練習に
励むしかありません！

2019年大会
競技課題



インパクトドライバ
回転と打撃で
ネジを締め付ける工具



パール
テコとして使用する
鋼鉄のできた棒



単管&クランプ
建設現場で
作業をするための
足場用の資材

